

「地域と共につくる安心・安全で魅力のある学校」

下関市立木屋川中学校

学校運営協議会について

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、1回目は紙面開催、2回目は12月に開催しました。12月の会議では、感染症対策のために変更した行事の内容や生徒の生活の様子、また、1学期に実施した学校評価アンケートの結果分析について、情報の共有を行いました。委員の方々からは、このような時だからこそ地域として協力できることを、ぜひしていきたいというご意見をいただきました。また安富アドバイザーから子供たちのストレスをすこしでも軽減できるよう朝・夕などの積極的な声かけを実践してほしいなどの指導助言をいただきました。

特色ある活動

◆「餅米作り」

本校では2年生が立志式の日にお餅つきを行っています。今年度は、学校運営協議会会長から休耕田を利用して餅米作りから始めてはどうかというアイデアをいただき、田植えをさせていただきました。初めての田植えはかなり重労働ではありましたが、貴重な経験となりました。



◆「環境整備」

CSコーディネーターと地域の方で、定期的に学級花壇の手入れをしていただいています。また、プール横のフェンスが破損し、学校では補修が難しい状態のものも地域の方が、無償で修理してくださいました。グラウンドや土手の草刈りや樹木の伐採なども定期的に行っていただいています。



◆「門松づくり」

冬休みは、新生徒会執行部が地域の方から門松の作り方を教えていただき、立派な門松を作成することができました。執行部として初めての共同作業で清々しい気持ちで新年を迎えることができました。



来年度に向けて

例年2学期に小中合同の学校運営協議会を開催していますが、今年度は中止となりました。予定では校区地域連携カリキュラムを小中の先生方と地域の皆様からのご意見を参考にして作成することとなっていました。各校の現状をまとめたものを作成したので来年度は、より具体的なカリキュラムにしていきたいと思っています。

「地域に愛着と誇りをもつ吉田っ子の育成」をめざして

下関市立吉田小学校

学校運営協議会について

① 実施回数

年間2回開催（今年度は小中合同開催は中止）

② 主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針の説明と承認、学校運営協議会の活動について
- ・学校の状況説明（校務分掌担当者から成果や課題について）、学校評価の報告
- ・本年度の反省、学校評価の報告、来年度の学校運営方針の提案

特色ある活動

◆ 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

地域と結びついた食農教育の推進

吉田は、木屋川の水と朝夕の気温の寒暖差等による自然の恩恵を受け、古くから農業の盛んな土地です。特に、特産品の吉田なすは、県内外に多く出荷されています。また、幕末期には、吉田の米が、米不足で困窮している薩摩に送られ、薩長同盟締結に大きな役割を果たしました。これらのことを児童は大変誇りに思っています。

各学年「食農教育」を教育活動に位置付けることによって、「地域に愛着と誇りをもつ吉田っ子の育成」に取り組んでいます。

・吉田なすの定植

毎年、5月に吉田園芸組合並びにJA下関に教えていただいて、特産品の吉田なすを植えます。果肉が柔らかく、収穫期間も長い吉田なす。地域を代表する特産品を育てることを通して、地域への愛着心も一緒に育みます。

・餅つき

残念ながら、田植えや稲刈りは今年度はできませんでしたが、例年、6月に昔ながらの定規を使って田植えをします。また、10月には、自分たちが植えた稲の刈り取りを行い収穫の喜びを体験します。

11月には地域の方と一緒に杵と臼を使って餅つきを行い、伝統を受け継ぐ機会を大切にしています。



餅つきの様子

来年度に向けて

子供たちにとって、「食」を考えることは、「命」を大切にすることにつながります。特に、地域に根差した「食育」は、子供たちが未来につなげていく「命のバトン」であり、尊い財産になることでしょう。これからも、地域の支援を得ながら、ふるさとと共にある「食農教育」を充実させ、吉田を愛する心を育てていきたいと思えます。

地域・家庭・学校がお互いの教育力をつないでつくる 「地域とともに歩む学校」をめざして

下関市立王喜小学校

学校運営協議会について

- (1) 実施回数 2回(コロナ感染拡大防止のため、紙面にて決議)
- (2) 主な協議内容
 - 王喜地区ふるさと協育ネットの活動との連携
 - 150周年記念事業の準備について



特色ある活動

【図書支援】

保護者や地域の方で構成されている「本をひらく会」の皆さんに、毎週金曜日の朝学に、本の読み聞かせを行っていただいています。下関いのちの日には、生命に関する絵本を選書していただき、児童の優しい心を育てています。毎年1月に行う本のお楽しみ袋のイベントは子供たちに大人気です。また、図書の整理や修理、新書の選定などもしていただいています。寄贈書を集めた「ひとみ文庫」も継続しています。

【学習支援】

週に3日の購買部の運営、ミシン操作補助などの授業支援、JAのご支援で、稲作やサツマイモ栽培などの食農教育、竹細工教室やしめ縄飾りづくりの伝統文化の紹介、春のお茶会の開催など地域の特色を生かし、地域の伝統や文化の継承と発展に寄与していただいています。「かぐや姫の里づくりの会」の皆さんに作っていただいた竹楽器「アングルン」や「クロンプット」などを使い、10月の土曜参観日では、合奏発表をしています。

【安全安心支援】

毎日児童の登下校時に交差点や横断歩道での指導、集合場所から学校までの付き添いなど見守り活動をしていただいています。また、危険箇所も日々チェックし、学校からの情報配信メールにも対応し、児童の安全を見守っていただいています。

【環境整備支援】

「ひばり会」・自治会やPTAが一体となって、木の伐採や除草、備品の修理など環境を整備し、児童の生活安全に貢献していただいています。今年度も「かぐや姫の里づくりの会」の方々に大きな門松も作成していただきました。また、季節に合わせた花壇の整備や校内に生花を飾ってくださるボランティアさんもいらっしやり、児童のやさしい心の醸成にも役立っています。自治会の方にも御協力いただき、地域貢献活動の一環として、学校を見下ろす城山の美化清掃活動を行い、現地での地域学習にも役立っています。



来年度に向けて

学校運営に係る課題や重点取組についてのテーマを具体的に設定し情報を共有することで、年を追うごとに家庭や地域の力も結集できている手ごたえを感じます。これからも中学校区を基本に、学校や地域間の課題を共有し、連携の明確な組織化を図り、実践・協働への意識をさらに高め、「地域とともに歩む学校」でありたいと考えます。